

まち・ひと・しごと創生総合戦略への評価・コメント

○今年度が今の総合戦略における最終年度ということで、いくつかご意見も上がりましたが、「選択と集中」が重要になるのではないかと思います。色々と項目を上げていますが、5 か年計画の中で、できていない／取り組まない内容や単発での実施で終わっている取り組みも出てきているので、次の総合戦略では、今本当に課題となっている(かつ、そこを解決することが他の産業や取り組みにも関係してくる)コアなものに絞り、それを確実に実践・検証・対策を取るほうが成果につながるのではと感じました。(例:屋久島高校の生徒数の維持など)

■屋久島高校の生徒数の維持

・屋久島高校が選ばれる理由／選ばれなかった理由などの現状把握

→長所は伸ばし、短所(他を選んだ理由)に対して行政としての環境整備のバックアップ

・島内の中学生の進学率を上げる(小中学校との連携)

・卒業後の就職問題(地域の企業との産学連携の取り組みの実施、求められる人材像とオリジナルの教育プログラムの連動など)

上記だけでも十分に取り組む内容がありそうな気がしております。

また、“屋久島＝世界自然遺産・縄文杉をはじめとする屋久杉・自然・パワースポット”といったイメージは世間一般にも周知されておりますが、そこだけではどうしても聞えない状況が出てきているかと思います。屋久島の観光地としての魅力や差別化ポイントをもう少し明確にし、他の離島にはない次なるコンセプトを創っていく必要があると思います。例えば水の循環や自然のサイクルを考える、エコツーリズムの島エコツーリズムの島などは、国内だけでなく海外からも関心が高く、また場合によっては教育旅行としてのニーズもとっていける可能性があるかもしれません。

さらに、直行便の飛んでいる福岡でさえ、なかなか屋久島・福岡間の直行便があることも知られていないなど情報発信の仕方も課題がありそうです。どうしても旅費が大きくなることも旅行者にとっては課題となっていると思いますので、そういった観光の底上げを図るための具体的な施策にも期待したいです。

○評価として「事業の目標を維持している」と「事業の目標をほぼ達成している」という選択肢があるが、その違いが分かりにくい。